

## ○ 平成30年度中央卸売市場事業会計予算について

### 1 市場事業会計の現状について

札幌市中央卸売市場における取扱額は、少子高齢化や流通構造の変化、消費者ニーズの多様化などにより平成10年度をピークに減少傾向で推移しております。

また、平成11年度から平成18年度まで実施した、市場再整備による施設・設備の減価償却費が高い水準で推移していることから、市場事業会計の収支は赤字が続いている状況です。

さらに、再整備事業に伴う企業債の元金償還が平成23年度から本格化しており、その後10年に亘って高い水準で推移することに加えて、経年劣化が進む水産保冷配送センターや再整備事業初期の立体駐車場などの施設について、修繕費の増加が見込まれる状況から、今後も厳しい市場運営が続くものと予想しています。

### 2 平成30年度市場事業会計予算の概要

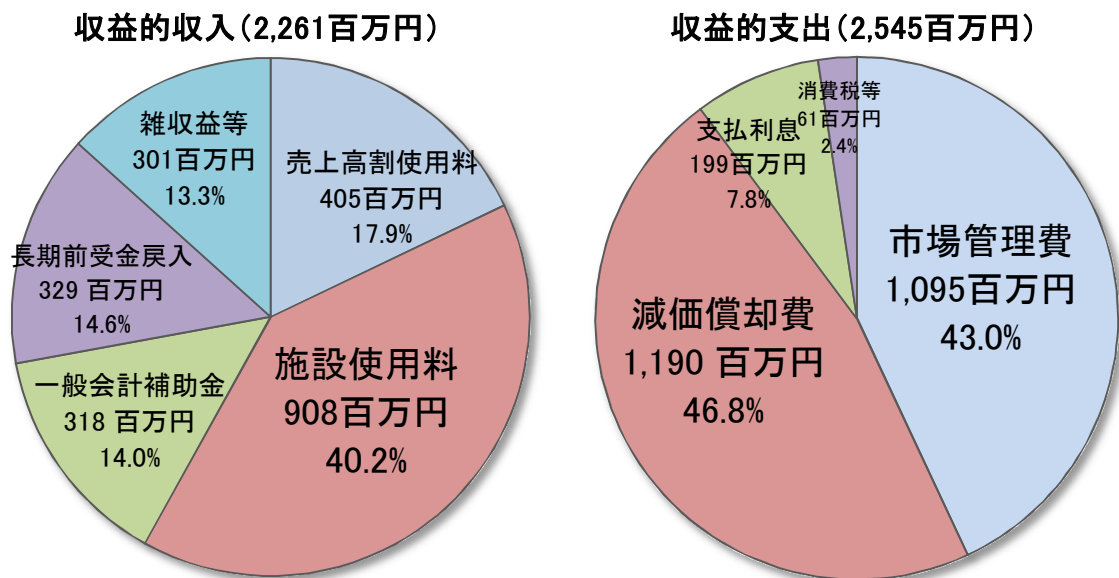
平成30年度市場事業会計予算の主なポイントは、次のとおりです。

#### (1) 市場整備

老朽化したガスヒートポンプ室外機などの機器類の更新を行います。

#### (2) 収益的収入及び支出の状況

1年間の経営成績である収益的収入及び支出の状況は、下の円グラフのとおりですが、市場管理費や減価償却費の増加などにより、平成29年度予算と比べて71百万円収支が悪化しています。



注: 円グラフの金額には、消費税及び地方消費税を含んでおります。